

川越城跡の発掘調査 堀の発見

市役所前から初雁球場までの間は、現在ではすっかり宅地化が進んでいます。約150年前までは川越城の城内でした。川越城跡は大正14年(1925)に県の史跡に指定され、史跡内には川越城本丸御殿や、堀跡、土塁など一部の遺構が残っています。



出土した遺物

初雁公園の整備に伴う市道付け替え工事に先駆けて、道路予定地の地下に眠る川越城の遺構を調査するため、昨年9月から2月までの6か月間、発掘調査を実施し、堀跡が4つ発見されました。

4つの堀跡のうち2つは、慶応3年(1867)に描かれた川越城の絵図が示す堀の位置とほぼ一致し、他の堀跡は、慶応3年の絵図にはなく、それ以前に造られて埋められた堀だと考えられます。

これらの堀を埋めた土の中からは、当時使われていた食器や瓦などの遺物が大量に出土しました。

また、一部の堀の壁面には、土を少しずつたたき強固な地盤を造る工事である「版築」が、丁寧に施されていることが確認できました。



川越城跡の発掘調査現場

農のある生活



農政課 224-5939

平成22年にスタートしたこのコラムでは、市内で栽培されている

さまざまな旬の農産物や、活躍する農業者などを紹介してきました。川越は農業が盛んな地域であり、郊外だけではなく、住宅街にも農地があります。

こうした地域性から、スーパーマーケットの地場産コーナーや農産物直売所、庭先販売所、農業祭などを通じて、新鮮な川越産農産物を味わうことができます。また、市民農園の利用や農業体験の参加などにより、農家ではない方も自ら農産物を作り、収穫することを楽しめます。

市の東部にある農業ふれあいセンターでは、田植え・稲刈り体験、季節

野菜の収穫体験を実施しているほか、春と秋には農業イベントも行っています。

3月20日(祝)には、同センター北側に県内最大規模である500区画ほどの市民農園がオープンする予定です。趣味・食育・健康などの視点からも皆さんの生活の中に「農」を取り入れてみませんか。



さまざまな農業体験が楽しめる農業ふれあいセンター

市民農園第2期募集を開始します

申し込み…3月15日(日)午前9時から電話で農業ふれあいセンター☎226-6551(市ホームページからも可)



映像のワンシーン

の魅力を発信した動画を市ホームページなどで公開しています。ぜひご覧ください。

2月25日発行の広報川越でも紹介しましたが、市内の大学に通う学生と協力し、新しい川越観光PR映像を制作しました。映像の中では、「川越♡キューピット」の職員などを通して「緑結びのまち」としての川越を伝えていきます。他にも、川越のグルメや観光スポットなどの魅力を発信した動画を市ホームページなどで公開しています。ぜひご覧ください。

編集後記

どんぐり

だんだんと暖かい日が多くなってきました。寒さも和らぎ、少しずつ春の訪れを感じます。今年の桜は、暖冬の影響からか、関東は例年よりも大幅に早く開花して、3月下旬には満開になるそうです。華やかなピンク色の景色が今年は早く見られそう、とても楽しみです。

広報川越1458

「声の広報川越(CD)」 「点字広報川越」を作成しています。ご希望の方は、広報室までご相談ください。
☎224-5495 ☎225-2171

■発行日/令和2年3月10日(毎月10日・25日発行)
■発行/川越市 〒350-8601埼玉県川越市元町1丁目3-1 <http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>
市役所代表 ☎049-224-8811 ☎049-225-2171
■編集/広報室

私的利用の範囲を除き、記事や写真の無断転載を禁止します。

この印刷物は、グリーン購入法に適合する紙を使用し、印刷用の紙へ、リサイクルできます。 リサイクル適性(A)

Fontworks
UDFont